

第28回衛星開発・実証小委員会 議事要旨

1. 日時

令和6年1月22日(月) 15:00~17:00

2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室及びオンライン

3. 資料

- 資料1 宇宙開発利用加速化戦略プログラムに係る戦略プロジェクトの評価等について
- 資料2 宇宙開発利用加速化戦略プログラムに係る戦略プロジェクトの選定について
- 資料3 宇宙技術戦略 軌道上サービスに関する市場戦略・開発技術について
- 資料4 基盤技術の開発戦略
- 資料5 「宇宙技術戦略に関する考え方」について UNISEC 加盟研究機関の研究領域該否調査結果および UNISEC 加盟研究機関からの意見
- 資料6 大学宇宙工学コンソーシアム (UNISEC) の紹介

参考資料1 宇宙開発利用加速化戦略プログラム 戦略プロジェクト概要

参考資料2 宇宙技術戦略に関する考え方

参考資料3 宇宙技術戦略に関する考え方(概要)

4. 議事要旨

- (1) 宇宙開発利用加速化戦略プログラム(スターダストプログラム)に係る戦略プロジェクトの評価・選定

●参考資料1に示す戦略プロジェクトに対して審議した。資料1の各委員からの意見を踏まえた評価は妥当と判断し、資料2の通りプロジェクト選定した。

- (2) 宇宙技術戦略の策定に向けた官民プラットフォームからのプレゼン

官民プラットフォームの ASTEC(一般財団法人 衛星システム技術推進機構)、及び UNISEC(大学宇宙工学コンソーシアム)よりプレゼンをいただいた。
委員からの意見は以下の通り。

●システム開発・製造プロセスの変革においては、新しい手法・ツールを採用するだけでなく、変化に対応しやすい設計(例えば、モジュール設計)と組み合わせる必要があるのではないか。

●衛星の寿命延長技術については、推進薬の補給口などの仕様について日本が不利とならないようインターフェース標準化の検討に取り組む必要があるのではないか。また、低軌道衛星だけでなく、大型で高価な静止軌道衛星におけるニーズ

も大きいため、検討の対象とすべきではないか。

- 地上局やクラウド等、地上のセキュリティについても扱うべきではないか。
- 部品・コンポーネントの高頻度実証に向けて、どう優先順位をつけて宇宙実証するものと、デジタルツインで地上実証するものと選別していくか、検討が必要ではないか。

以上